

令和 3 年度 泉南市教育重点施策 (SEPP2021)

この重点施策は、泉南市教育大綱及び泉南市教育振興基本計画に基づき、令和 3 (2021) 年度に特に力を入れて実施する教育施策をまとめたものです。泉南市の教育関係者は、この重点施策を共有し、子どもたちを育成してまいります。



令和 3 (2021) 年 3 月

泉南市教育委員会

令和 3 年度 泉南市教育重点施策

Sennan Education important Point Policy 2021 (セツプ^{セツプ}2021)

この重点施策は、**泉南市教育大綱**及び**泉南市教育振興基本計画**に基づき、令和 3 (2021) 年度に特に力を入れて実施する教育施策をまとめたものです。

各項目の下には、より具体的に令和 3 (2021) 年度に目指すゴールイメージを記載しています。

泉南市の教育関係者は、大綱や基本計画に示した各施策を丁寧に実施するとともに、この重点施策に掲げたイメージを共有し、協力して次代を担う泉南市の子どもたちを育成してまいりましょう。



泉南市マスコットキャラクター「せんなんくまじろう泉南熊寺郎」“せんくま”

SEPP 1 国際化教育

「関空のまち」である泉南市の子どもたちが、グローバル社会の中でたくましく生きていくために、語学力やコミュニケーション能力を育成します。

●国のJETプログラムにより、就学前から小中学校まで連携した国際交流・国際化教育を推進

※ALT(外国語指導助手)、CIR(国際交流員)、SEA(スポーツ国際交流員)を、計 27 人任用します。その JET メンバーが全小学校 10 校、全中学校 4 校に常駐したり、巡回したりします。また、CIR を中心に市内全ての幼稚園、保育所、認定こども園を巡回します。

- ・全ての小中学校の外国語授業等に JET-ALT が入り、教員とともにより充実した授業が展開される。
- ・子どもの外国語学習などの満足度 90%以上を目指す。
- ・中学校において英語劇を実施するなどして、外国人に簡単な道案内ができるようになることを目指す。
- ・インターネットにより外国の学校と結んだ授業を実施する。

●英語検定試験を市内会場で実施

- ・小学生、中学生とも、検定受検者数がより増えることを目指す。

●ワールドマスターズゲームズ 2021 関西に関する国外への広報を強化

※泉南市は、2022 年 5 月 22 日に泉南市内のタリイサザンビーチにおいて、水泳(オープンウォータースイミング)競技を開催します。

- ・CIR により広報を強化し、泉南市を PR することで、国外からのエントリー数や来客数の増加を目指す。



SEPP2 ICT 教育

これからの時代に不可欠な ICT（情報通信技術）について、子どもたちが前述の国際化教育と相まって、外国語で読み、判断し、発信していけるようなスキルを身に付け、これからの時代を、たくましく生き抜く力を育成します。

●GIGA スクール構想の推進による学校の ICT 環境の整備

- ・GIGA スクール構想に沿って整備された、1 人 1 台端末、大型モニター、教職員用 ICT 機材等を活用し、新たな時代の授業を創造する。
- ・オンライン学習、家庭学習の充実等を図る。

●プログラミング教育の推進

- ・小中学校において、ロボット教材等を通じて、ICT 活用能力の基礎となるプログラミング的思考や知識・技能等の育成を図る。

●ICT 支援人材を派遣し学校の ICT 教育を支援

- ・GIGA スクールサポーター、ICT 支援員等を学校に派遣し、GIGA スクール構想により多数導入された ICT 機材の有効活用に向け、学校現場を強力に支援する。



SEPP3 小中一貫教育

小学校と中学校との連携を更に進めて、目指す子ども像を共有しつつ、一貫したカリキュラムや生徒指導を進めることによって、学力向上や生徒指導の充実を図ります。また、学校の在り方を検討し、小中一貫教育を進めやすい環境を整備します。

●泉南市独自の小中一貫教育を構築

- ・外国語教育を軸として、就学前教育から中学校までのデザインを共有し、関係者で協力して着実な積み重ねができるシステムの構築を図る。
- ・小中学校の体育授業に関する JET-SEA(スポーツ国際交流員)の活用について、小中学校の教員が協議し推進する。

●小中一貫教育が行いやすい学校再編計画の策定

- ・小中学校再編計画〈複数原案〉を以て、市内の小中学校で住民説明会を開催して丁寧に説明を行う。
- ・広くアンケートを実施し、市民をはじめ関係者等から意見を聴取する。
- ・教育問題審議会の答申を経て、最終的に小中学校再編計画を策定する。



SEPP4 教職員研修(学力向上、いじめ・不登校減少等)

子どもの成長や支援のカギを握るのは教職員です。教職員が、経験の浅い段階から管理職までの各段階で確実に力をつけていけるよう、また、国際化教育、ICT教育など新たな課題に取り組むためにも、研修の更なる充実を図ります。

そのためにも、感染症の拡大により、校外での研修が困難になったことから、教育委員会と各学校園がこの度整備されたオンラインネットワーク等を活用して、情報提供、情報共有をし合い、校内研修や自己研鑽^{さん}の充実に努めます。

その結果、教職員の授業力向上と子どもの学力向上を目指します。



●校内研修・校外研修・自己研鑽^{さん}のための支援の充実

- ・校内研修・校外研修・自己研鑽^{さん}の実態を調査し、教職員一人ひとりが充実した研修ができるようきめ細かく推進する。
- ・教育委員会や各学校が、オンラインネットワークを活用し、校内研修や自己研鑽^{さん}のためのコンテンツを提供し合う。
- ・学校教育アドバイザーにより、研修機会の増加と、研修の質の向上を目指す。

●授業力向上による学力の向上

- ・研修等による教員の授業力の向上をもとに、子どもたちの主体的な学びを引き出し、全国学力調査等での上昇傾向を作り出す。

●支援力向上によるいじめ・不登校の減少

- ・ICTなどを活用した不登校児童生徒への多様なアプローチを研究する。
- ・子どもを見る力、個に応じて関わる力等、いじめ・不登校状況の改善を目指す。

●人権教育の着実な推進

- ・すべての教職員が自らの人権感覚を高めるとともに、あらゆる場面で人権意識を絶えず見つめ直しつつ教育活動を行うなど人権教育を推進するとともに、人権教育に関する研修や研究事業を着実に実施する。
- ・JET青年と連携して、互いの違いを認め、共に生きる教育を推進する。